

平成26年度 国立吉備青少年自然の家教育事業

桃太郎チャレンジキャンプ[®]中学年編

1回目 平成26年 6月28日(土)～29日(日)

2回目 平成26年10月 4日(土)～ 5日(日)

1. 事業の目的(趣旨・ねらい)

小学校中学年の子どもたちが、自然の中で共に宿泊体験や自然体験活動を行うこととおして、基本的な生活習慣を身に付け、自ら進んでチャレンジしようとする心情を育む。

2. 事業の概要

(1) 開催日

1回目 平成26年 6月28日(土)～29日(日)

2回目 平成26年10月 4日(土)～ 5日(日)

(2) 募集人員

参加対象 小学校3・4年生

1回目 24名／参加者24名 (応募総数224名)

2回目 31名／参加者32名(欠席1名)(応募総数115名)



アイスブレイク

(3) 講師等

1回目 ツリーイング指導者5名 ボランティア12名

2回目 ツリーイング指導者6名 リスクマネジメント指導者1名

ボランティア16名 NEALインストラクター演習I受講者1名

(4) 企画・運営のポイント

- ・子どもたちの活動した結果が、次の活動にも繋がるようにプログラムを企画し、子どもたちに活動の目当てを意識できるようにした。
- ・広報活動を岡山県北部にも拡大することで、参加者のニーズの有無を確認するように工夫をした。
- ・応募人数が多く、少しでも参加の枠が広げられるよう、2回目は募集人員を増やした。
- ・子どもをより細かく支援できるように、ボランティアの人数を増やすとともに、スタッフ全員が事前研修に参加することで共通理解を深め、万全の準備に努めた。
- ・事前研修では、リスクマネジメントについて講師を招聘し、本番を想定して活動する姿をシミュレーションできるよう、講義していただくよう依頼した。
- ・ボランティアの研修機会に位置づけ、今後ボランティアが企画・実施する活動の参考になるような動きづくりに努めた。
- ・フェイスブックに子どもたちの活動の様子を紹介することにより、保護者には安心して見守っていただけるようにした。
- ・本事業を、NEALインストラクター演習Iに位置づけた。

3. 活動の内容等

(1) 日程等

< 1回目 >

6月28日(土)		6月29日(日)	
9:00	受付	6:15	起床・清掃
9:30	開会式	7:15	朝のつどい
10:00	仲間づくりゲーム	7:30	朝食
12:00	昼食	8:30	活動準備
13:30	木登り(ツリーイング)	9:00	カッター
17:15	夕べのつどい	12:00	昼食
17:30	夕食	13:00	クラフト
18:30	ドラム缶風呂準備	15:00	アンケート
20:00	入浴(ドラム缶風呂)	15:30	閉会式
21:30	就寝準備		
22:00	就寝(テント泊)		

< 2回目 >

10月4日(土)		10月5日(日)	
9:00	受付	6:15	起床・清掃
9:30	開会式	7:15	朝のつどい
10:00	仲間づくりゲーム	7:30	朝食
12:00	昼食	8:30	活動準備
13:30	木登り(ツリーイング)	9:00	カッター
16:00	野外炊事	12:00	昼食
19:15	暗闇オリエンテーリング	13:00	クラフト
20:45	入浴(シャワー)	15:00	アンケート
21:30	就寝準備	15:30	閉会式
22:00	就寝(テント泊)		

(2) 活動の状況

< 1回目 >



班の目標作り



ドラム缶風呂体験



ツリーイング（雨天時）



アドベンチャーカッター



薪割り

< 2回目 >



クラフト（焼き板）



ツリーイング



野外炊事（竹ごはん）



暗闇オリエンテーリング



クラフト（焼き竹ペン立て）



閉会式（ボランティアから保護者への報告）



閉会式（修了証授与）

4. 成果・課題

（1）成果

- ・子どもたちの活動をその都度見直すことで、子どもたち自身が次の活動に課題を残さないように修正することができ、活動の目当てを意識させることができた。
- ・広報活動を岡山県北部にも拡大し、北部からの申込みが多数あることが分かり、参加者のニーズを確認することができた。
- ・応募人員を拡大することにより、より多くの子どもたちに体験活動の機会を提供することができた。
- ・ボランティアの適切な支援と子どもを引き渡す時の活動報告により、保護者からも安心して任せられるとの信頼を得ることができた。
- ・ボランティアが事前研修でリスクマネジメントについて学習することにより、普段意識できていなかったことや、指導者としての視点から安全面に気付くことができた。
- ・事前研修では、活動のねらいや設定の意図を説明することで、ボランティア自身が活動を企画・運営するイメージを抱かせることができ、当日は指示を待つ姿勢ではなく主体的に指導することができた。
- ・フェイスブックによる活動の報告は、保護者にも多数閲覧され、活動の様子を紹介できるとともに、保護者に安心していただくことにも繋がった。
- ・本事業を、NEALインストラクター演習Ⅰに位置づけたことにより、1名の受講があった。

（2）保護者の声

- ・子どもの好きなプログラム内容で良かったと思いました。苦手なことでもチャレンジできる環境もとても良かったです。
- ・子どもが人的・物的・環境とも恵まれた中で、のびのび色々な体験ができ良かったです。
- ・団体行動の難しさや、リーダーシップをとることの難しさが本人によく伝わったのではないかと思います。
- ・学校は小規模校なので、今回のような同年代の子どもたちと交流をもって、いろんな性格の子がいることを知ることで、世界観が広がっていけばいいなと思います。
- ・今日娘の顔を見て、涙が出そうになるほど嬉しい思いでいっぱいです。きっといい話がいっぱい聞けそうです。

- ・末っ子で甘えん坊が，知らない人たちの中でどう過ごすのか心配でもあり，とても興味がありました。このような機会に巡り会え，本人の成長できるチャンスがあり，良かったと思います。
- ・初めて顔を合わせる同年代の子どもたちと，うまく仲良くしていたようなので安心しました。木登り，野外炊事等，野外体験に目を輝かせていました。
- ・ボランティアの方が，思っていた以上にたくさん付いてくださっていたので，とても安心できました。
- ・ボランティアスタッフの学生さんはとても優秀で，児童の関わりに積極的姿勢であり，感心しております。プログラムも充実していて，本当に良い体験をさせていただき感謝しています。
- ・ボランティアの方が一緒にいてくれたので，とても安心して任せることができました。フェイスブックに子どもたちの様子を載せてくれたのがとても良かったです。
- ・子どもが2日間をとおして楽しく過ごせたことは，子どもにとってよい体験ができたと思う。仲間の大切さが帰ってから養われれば良いと思う。
- ・頑張っている写真を見たり，話を聞いたり，本人が今後頑張ることを話している時，熱いものがこみ上げてきて涙が出ました。この2日間で，また成長した子どもを見て，とても嬉しく思います。
- ・最初は親の方が不安でしたが，子どもがそれぞれの活動に積極的に取り組んでいたことを，ボランティアの方にお聞きして安心しました。全く知らない人たちの中でも，すぐに打ちとけられるか・・・，社会勉強ができたように思います。
- ・迎えに来た時のスライドを見て，とても安心しました。かなりの成長を見せていただきまして，とても感謝しています。
- ・最後にボランティアのお兄さんお姉さんから，子どもの様子を教えてもらいました。子ども一人ひとりをよく見ていてくださったのだなと，嬉しく思いました。

(3) 今後の課題など

- ・NEALインストラクター演習受講者が，事業の企画・運営や指導にどのように参画するかを検討する必要がある。

担当：企画指導専門職 村上 聖一